

# 平成 30 年度市政モニター 第 1 回アンケート結果

テーマ 1 「生活環境の状況確認」について

環境部 環境保全課

テーマ 2 「はちバスの今後の運行」について

都市計画部 交通企画課

道路交通部 交通事業課

テーマ 3 「市立小・中学校施設の今後のあり方」について

学校教育部 学校教育政策課

テーマ 4 「スポーツ」について

生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課



# 目 次

《市政モニターの属性》	1
<b>テーマ1「生活環境の状況確認」について</b>	<b>2</b>
問1 現在の住居に何年前から住んでいるか	2
問2 以前と比べて生活環境がどうなったか	3
問2-1 比較できない生活環境	3
問3 住居周りの「みどり」の変化	4
問3-1 わからない理由	4
問4 住居周りの大気の変化	5
問4-1 わからない理由	5
問5 住居周りの騒音や振動の変化	6
問5-1 ひどくなった原因	6
問5-2 騒音や振動を感じたときの対応	7
問5-3 わからない理由	7
問6 野焼きを見かける頻度	8
問6-1 野焼きが行われた場所	8
問6-2 見かけたときの対応	9
問7 講座「八王子の大気について」の周知度	9
問8 八王子環境フェスティバルの周知度	10
問9 みどり・大気・騒音・振動についてのご意見（自由記述）	10
<b>テーマ2「はちバスの今後の運行」について</b>	<b>14</b>
問1 ルートの沿線にお住まいか	14
問2 はちバスの利用度	15
問3 運行理由の周知度	15
問4 シルバーパス運賃の周知度	16
問5 シルバーパス利用可否の周知度	16
問6 シルバーパス運賃が市の税金であることの周知度	17
問7 乗車時のシルバーパス利用をどう思うか	17
問8 はちバスの運賃についてどう思うか	18
問9 1人1回の利用に300円の税金が使われることについて	19
問10 今後の運行方針について	20
問11 はちバス運行についてのご意見（自由記述）	21
<b>テーマ3「市立小・中学校施設の今後のあり方」について</b>	<b>24</b>
問1 老朽化した学校施設への対応について	24
問2 適正配置を推進するときの学校再編に対する考え	25
問3 適正規模化・適正配置の具体的な進め方	26
問4 小・中学校と複合化する公共施設	27
問5 廃校となった施設や跡地の活用方法	28

問 6	学校再編の際に充実すべき施設・設備	29
問 7	通学の安全・安心の確保に有効な方策	30
<b>テーマ 4 「スポーツ」について</b>		<b>31</b>
問 1	知っている、または聞いたことのある障害者スポーツ用語	31
問 2	障害者スポーツを見たことがあるか	32
問 3	障害者スポーツの体験やイベントに参加したことがあるか	33
問 4	どのようなスポーツ情報がほしいか	33
問 5	地域スポーツクラブの周知度	34
問 6	地域スポーツクラブに加入したいか	34
問 6-1	加入するための条件	35
問 7	スポーツや運動に関するボランティア活動に参加したいか	36
問 8	ボランティアをするために重要なこと	36
問 9	オリンピック・パラリンピックの東京開催で感じること	37

## 《市政モニターの属性》

(太枠内は今回の回収数)

全 体		郵送		Eメール		合計	
		57	57	43	40	100	97
性 別	男性	22	22	26	23	48	45
	女性	35	35	17	17	52	52
年 代	18歳～29歳	4	4	2	2	6	6
	30歳代	6	6	7	6	13	12
	40歳代	10	10	13	12	23	22
	50歳代	9	9	10	9	19	18
	60歳～64歳	7	7	2	2	9	9
	65歳以上	21	21	9	9	30	30
地 区	中 央 (本庁地区)	16	16	10	10	26	26
	西南部 (浅川・横山・館地区)	5	5	7	6	12	11
	東 部 (由木・由木東・南大沢地区)	9	9	10	10	19	19
	西 部 (元八王子・恩方・川口地区)	11	11	5	3	16	14
	東南部 (由井・北野地区)	12	12	10	10	22	22
	北 部 (加住・石川地区)	4	4	1	1	5	5

(定員は 100 名。)

- ※ アンケート実施期間：平成 30 年 8 月 13 日から平成 30 年 8 月 27 日まで
- ※ 回収率： 97.0% (小数点第 2 位を四捨五入)
- ※ 回答は各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で表示した。(百分率は、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出してあるため、合計が 100%にならない場合がある。また、複数回答の場合は、回答比率の合計が 100%を超える場合がある。)
- ※ 割合の表現については、以下の表記を基本とする。

<例>

表記	4割	約4割	4割強	4割台半ば	5割近く	5割弱
割合	40.0%	40.1～40.9%	41.0～43.9%	44.0～45.9%	46.0～48.9%	49.0～49.9%

また、質問における選択肢を統合し、『 』を用いて記述している場合がある。なお、この場合の比率は、個々の選択肢の比率の単純合計である。

<例>「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』。

- ※ 自由記述の番号は、通し番号でありモニター番号ではない。
- ※ 自由記述の表現はできる限り原文のまま記載しているが、アンケート全体で統一するため、一部表現を修正している。また、特定の個人、団体への誹謗中傷につながる内容や企業の営業活動に影響するもの、根拠が明確でないものなどは、一部削除・修正した。

## テーマ1 「生活環境の状況確認」について

環境部 環境保全課

市では市民の皆様の生活環境の保全のため、大気汚染や騒音・振動問題を改善するための様々な業務や周知活動を行っています。市民の皆様の生活環境の状況を詳細にお聞きし、今後の業務改善の参考とするため、市政モニターの皆様にご回答をお願いします。

問1 現在お住まいの住居には、何年前からお住まいですか。 (○は1つだけ)

(n=97)

	構成比(%)
1年未満	4.1
1～3年未満	8.2
3～5年未満	8.2
5～10年未満	11.3
10～15年未満	8.2
15～20年未満	13.4
20～30年未満	15.5
30～40年未満	14.4
40～50年未満	9.3
50年以上	7.2

現在お住まいの住居に何年前から住んでいるのか聞いたところ、「20～30年未満」が1割台半ば（15.5%）と最も多く、次いで「30～40年未満」が1割台半ば（14.4%）であった。

問2 市の生活環境（水・みどり・ごみ・大気・騒音や振動など）が以前と比べ、どうなったと思いますか。 (○は1つだけ)

(n=97)

	構成比(%)
良くなった (⇒問3へ)	19.6
どちらかといえば良くなった (⇒問3へ)	43.3
どちらかといえば悪くなった (⇒問3へ)	12.4
悪くなった (⇒問3へ)	5.2
わからない (⇒問2-1へ)	19.6

市の生活環境が以前と比べてどうなったと思うか聞いたところ、「良くなった」(19.6%)と「どちらかといえば良くなった」(43.3%)を合わせた『良くなった』は6割強(62.9%)と多くなっている。

【問2で「わからない」とお答えの方に】

問2-1 わからないと回答したのは、どの生活環境についてですか。 (○はいくつでも)

(n=19)

	構成比(%)
ごみ	78.9
大気	73.7
水	68.4
みどり	57.9
騒音や振動	57.9
その他	10.5

市の生活環境の変化が、以前と比べて「わからない」とお答えの方に、どの生活環境についてわからないのか聞いたところ、「ごみ」が8割近く(78.9%)と最も多く、次いで「大気」が7割強(73.7%)であった。

【その他】

- ・ すべて、2、3年前からあまり変わらないように感じる。
- ・ ごみの置き場所の不足。隣家の植え込み(木など)の道路へのはみだし。(歩行者と車両の通行時に障害となっている。)

問3 現在お住まいの住居の周りの「みどり」は、住み始めた頃と比べてどのように変化しましたか。(○は1つだけ)

(n=97)

	構成比(%)
増えた (⇒問4へ)	12.4
変わらない (⇒問4へ)	50.5
減った (⇒問4へ)	29.9
わからない (⇒問3-1へ)	7.2

現在お住まいの住居の周りの「みどり」が、住み始めた頃と比べてどのように変化したか聞いたところ、「変わらない」が約5割(50.5%)と最も多く、次いで「減った」が3割弱(29.9%)であった。

【問3で「わからない」とお答えの方に】

問3-1 その理由をお答えください。

(○はいくつでも)

(n=7)

	構成比(%)
現状に満足しているので考えたことがないから	42.9
みどりの何(山、公園、街路樹等)を対象として判断したら良いのかわからないから	28.6
最近住み始めたので比較できないから	28.6
そもそも住居の周りにみどりが少ないから	0.0
その他	0.0

現在お住まいの住居の周りの「みどり」の変化が、住み始めた頃と比べて「わからない」とお答えの方に、その理由を聞いたところ、「現状に満足しているので考えたことがないから」が4割強(42.9%)と最も多かった。



**問4 現在お住まいの住居の周りの大気の様子は、住み始めた頃と比べてどのように変化しましたか。** (○は1つだけ)

(n=97)

	構成比 (%)
きれいになった (⇒問5へ)	6.2
変わらない (⇒問5へ)	56.7
汚くなった (⇒問5へ)	12.4
わからない (⇒問4-1へ)	24.7

現在お住まいの住居の周りの大気の様子が、住み始めた頃と比べてどのように変化したか聞いたところ、「変わらない」が6割近く (56.7%) と最も多かった。

**【問4で「わからない」とお答えの方に】**

**問4-1 その理由をお答えください。**

(○はいくつでも)

(n=24)

	構成比 (%)
大気に関する情報収集の方法がわからず、比較することができないから	70.8
大気の何を対象として判断したら良いのかわからないから	66.7
大気に関する情報 (広報やHP など) が少なく、比較することができないから	25.0
最近住み始めたので比較できないから	4.2
その他	8.3

現在お住まいの住居の周りの大気の様子の変化が、住み始めた頃と比べて「わからない」とお答えの方に、その理由を聞いたところ、「大気に関する情報収集の方法がわからず、比較することができないから」が約7割 (70.8%) と最も多く、次いで「大気の何を対象として判断したら良いのかわからないから」が7割近く (66.7%) であった。

**【その他】**

- ・ 大気に関しては何もわからないが、住宅それぞれの庭木が20年ですぐに大きくなり、みどりはずいぶん多くなったと思う。
- ・ 式分方に移住して40年を迎える頃だが、移住した当時は、洗濯さおが黒くなり、田舎に来たのにと感じた。今はほこり程度になり、陣馬街道のダンプが少なくなって良くなったのか。

**問5 現在お住まいの住居の周りの騒音や振動は、住み始めた頃と比べてどのように変化しましたか。** (○は1つだけ)

(n=97)

	構成比 (%)
静かになった (⇒問6へ)	4.1
変わらない (⇒問6へ)	59.8
ひどくなった (⇒問5-1、2へ)	34.0
わからない (⇒問5-3へ)	2.1

現在お住まいの住居の周りの騒音や振動が、住み始めた頃と比べてどのように変化したか聞いたところ、「変わらない」が6割弱 (59.8%) と最も多く、次いで「ひどくなった」が3割台半ば (34.0%) であった。

**【問5で「ひどくなった」とお答えの方に】**

**問5-1 ひどくなった原因として、どのようなことが考えられますか。** (○はいくつでも)

(n=33)

	構成比 (%)
車や電車の走行音や振動がひどくなった	48.5
飛行機の音や振動がひどくなった	45.5
工事の音や振動がひどくなった	9.1
工場や店舗の音や振動がひどくなった	0.0
その他	30.3

現在お住まいの住居の周りの騒音や振動が、住み始めた頃と比べて「ひどくなった」とお答えの方に、その原因として考えられることを聞いたところ、「車や電車の走行音や振動がひどくなった」が5割近く (48.5%) と最も多く、次いで「飛行機の音や振動がひどくなった」が4割台半ば (45.5%) であった。

**【その他】**

- ・ 住宅が増え、家庭関係の騒音など。
- ・ 新滝山街道が通り始めてから、交通量が多いので。
- ・ 5年前頃より、自衛隊のヘリコプターの通り道となった。
- ・ 電話しながら歩く人、音楽を聞く人が増えた。
- ・ 日中も夜中も救急車、パトカーのサイレンの音がする。
- ・ 近所にオートバイを利用する方がいて、夕方出かける前に大きな音でエンジンをかける。ほんの一時だが、びっくりする音。ご近所なので注意するつもりはない。
- ・ 住宅が増え、交通量が多くなった。(特に朝夕。)
- ・ 近くに工場ができたため。
- ・ 路線バスの走行音や振動がヒドイ。(南大沢駅発京王堀之内行き)

- ・ 入居当時は、マンション前の道が（約 200m 先）松木中学校で行き止まりだったが、その後見附橋まで抜ける道が完成したため、車の往来が増加し、中には暴走行為を行う車両があるため。
- ・ 都道が国道 16 号、みなみ野、高尾方面につながったため、交通量が激増した。大型車通行時の振動、騒音と、臭気が室内に入るほど、排気ガスが増大した。

**【問5で「ひどくなった」とお答えの方に】**

**問5-2 騒音や振動を感じたとき、何か対応をしましたか。**

**(○は1つだけ)**

(n=33)

	構成比 (%)
何もしなかった	81.8
直接注意した	3.0
市役所に連絡した	0.0
消防署や警察署に連絡した	0.0
町会、自治会に相談した	0.0
その他	12.1
無回答	3.0

騒音や振動を感じたとき何か対応をしたか聞いたところ、「何もしなかった」が8割強(81.8%)と最も多かった。

**【その他】**

- ・ なにをされるかわからないので注意できない。
- ・ 騒音、振動の不満はない。
- ・ 塀の補強。

**【問5で「わからない」とお答えの方に】**

**問5-3 その理由をお答えください。**

**(○はいくつでも)**

(n=2)

	構成比 (%)
最近住み始めたので比較できないから	100.0
騒音や振動に関する情報（広報やHP など）が少なく、比較することができないから	0.0
騒音や振動に関する情報収集の方法がわからず、比較することができないから	0.0
その他	0.0

現在お住まいの住居の周りの騒音や振動の変化が、住み始めた頃と比べて「わからない」とお答えの方に、その理由を聞いたところ、「最近住み始めたので比較できないから」が10割(100.0%)であった。

**問6 野焼き(※)についてお伺いします。現在お住まいの住居の周りで、野焼きはどれくらいの頻度で見かけますか。** (○は1つだけ)

(n=97)

	構成比(%)
毎日見かける (⇒問6-1、2へ)	0.0
週1回くらい見かける (⇒問6-1、2へ)	0.0
月1回くらい見かける (⇒問6-1、2へ)	4.1
年に数回見かける (⇒問6-1、2へ)	15.5
まったく見かけない (⇒問7へ)	80.4

**(※) 野焼き**…適法な焼却施設以外で、野外で廃棄物等を燃やすこと。

現在お住まいの住居の周りで、野焼きをどれくらいの頻度で見かけるか聞いたところ、「まったく見かけない」が約8割(80.4%)と最も多く、次いで「年に数回見かける」が1割台半ば(15.5%)であった。

**【問6で「まったく見かけない」以外をお答えの方に】**

**問6-1 野焼きはどのような場所で行われていましたか。**

(○はいくつでも)

(n=19)

	構成比(%)
畑などの農地	47.4
一般家庭の庭	42.1
空き地	26.3
山林	10.5
工場・会社の事務所などの敷地	10.5
その他	5.3

現在お住まいの住居の周りで野焼きを見かけるとお答えの方に、その場所を聞いたところ、「畑などの農地」が5割近く(47.4%)と最も多く、次いで「一般家庭の庭」が4割強(42.1%)であった。

**【その他】**

- ・ 現場は直接知らないが、打越のバイパスあたり。

【問6で「まったく見かけない」以外をお答えの方に】

問6-2 野焼きを見かけたとき、何か対応をしましたか。

(○は1つだけ)

(n=19)

	構成比(%)
何もしなかった	78.9
直接注意した	5.3
市役所に連絡した	0.0
消防署や警察署に連絡した	0.0
町会、自治会に相談した	0.0
その他	15.8

野焼きを見かけるとお答えの方に、そのとき何か対応したか聞いたところ、「何もしなかった」が8割近く(78.9%)と最も多かった。

【その他】

- ・ 2Fの物干しが風向きによって、油煙や塵芥がこびりつき大変。越してきた当初はとてもひどかったが、今でもまだ飛んでくる。ひどい時に近所の方が市議の方に相談して、少しは良くなったが、完全には解決してないと思う。
- ・ 近くの山で煙が上がったので出てみたら、既に消防車が来ていた。誰かが発見して、山火事と思い119番に連絡していた。

問7 市では、市民の生涯学習を支援するため「はちおうじ出前講座」という講座を開いています。

環境保全課が担当する講座の1つに、本市の大気の成分やPM2.5について解説する「八王子の大気について」という講座がありますが、この講座についてご存じですか。(○は1つだけ)

(n=97)

	構成比(%)
知っており、以前に受講したことがある	1.0
知っており、機会があれば受講したいと思う	5.2
知っているが、受講しようとは思わない	1.0
知らなかったが、機会があれば受講したいと思う	49.5
知らなかったし、今後も受講はしないと思う	43.3

本市の大気の成分やPM2.5について解説する「八王子の大気について」という講座について知っているか聞いたところ、「知らなかったが、機会があれば受講したいと思う」が5割弱(49.5%)と最も多く、次いで「知らなかったし、今後も受講はしないと思う」が4割強(43.3%)であった。

問8 市では、「はちおうじの環境をみる・きく・考える」をメインテーマに掲げ、市民の環境に対する意識の高揚及び市民の自発的な活動の促進を図ることを目的に、毎年6月に「八王子環境フェスティバル」を開催していますが、ご存じですか。 (○は1つだけ)

(n=97)

	構成比(%)
知っており、イベントに参加したこともある	6.2
知っているが、イベントに参加したことはない	27.8
知っているが、イベントに参加するつもりはない	4.1
知らないが、機会があれば参加してみたい	35.1
知らないし、今後参加することもないと思う	26.8

毎年6月に「八王子環境フェスティバル」を開催していることを知っているか聞いたところ、「知らないが、機会があれば参加してみたい」が3割台半ば(35.1%)と最も多く、次いで「知っているが、イベントに参加したことはない」が3割近く(27.8%)であった。

問9 みどり・大気・騒音や振動に関する意見や感想をご記入ください。 (自由記述)

#### 生活環境全般

- 1 みどりが多いところがとても気に入っている。大気、騒音については、自宅が大通りに面しているので妥協している。(30歳代 女 東南部)
- 2 八王子南バイパスが完成すると、生活環境が悪化するおそれがある。市には対策を万全にしてほしい。(30歳代 男 西南部)
- 3 最近、近くの川のザリガニが減り、残念に思う。(40歳代 女 東南部)
- 4 浅川のそばに住んでいるが、川沿いは緑や花も多く、良い環境だと思う。川の水も、とてもきれいになったと思う。(40歳代 女 西南部)
- 5 夏場の雑草対策をタイミングよく対応することが必要。1メートルくらいまで伸びてくると、車道も狭くなり、対向車線にはみ出す危険がある。歩道も歩きにくい。(40歳代 男 東南部)
- 6 以前はみどりが多かったが、緑地が住宅になり、住民が増え、車や室外機等で環境はずいぶん変わった。(50歳代 女 西部)
- 7 清川グランドより先、中野上町へ向かう河川敷を整備してほしい。木や草がうっそうとして、見通しが悪い。(50歳代 女 中央)
- 8 水害対策との兼ね合いもあるとは思いますが、市の中心部を流れる浅川の自然は守ってほしい。護岸工事で自然体系や景観が変わってしまうのが心配。(50歳代 男 中央)
- 9 明神町から子安町に転居し、静かな環境に満足している。中心部の街路樹や川沿いの雑草の手入れも定期的に行われており、これからはよりきれいな都市を目指してほしい。(50歳代 男 中央)
- 10 以前に比べ、みどりは増えたと思う。大気は変わりなし。騒音、振動も変化を感じない。(60歳代 女 東南部)

- 11 40年前越して来たころと比べ、みどりが減り（農業の後継者がいない、税金対策等で昔からの土地の維持がむずかしいなどで売却）、住宅地に代わった。夜間は明るくなったが、騒音やスピードを出して走る車にヒヤヒヤしながら歩くことになり、歩行者の安全が確保できていないと感じる。  
(60歳代 女 西部)
- 12 ショッピングセンターがあり、目の前の道路で危ない思いをしたり、危ない光景を見たりしている。近所で土砂崩れがあり早急な修復処理をお願いしたい。  
(60歳代 女 東部)
- 13 近所の川や、浅川の川底がコンクリートでおおわれてしまった。これでは川の自浄作用がなくなっている。川の自浄作用の重要性が叫ばれ、元の自然の形に戻そうという自治体もあるというのに。  
(70歳代 男 西南部)
- 14 市民のための広場が少ない。特に駅前が箱物だらけだ。  
(70歳代 男 西南部)
- 15 自宅の隣が空き家だったが最近入居者がおり、雑然としていたが、庭木、雑草も手が入り、みどり、庭木など、きれいになり、虫、蚊なども減った。  
(70歳代 女 中央)
- 16 道路に面した敷地内から外にはみ出た草木等は、通行の障害となり、安全通行においても問題であり、PRを徹底して、安全確保をお願いしたい。狭い道・雨の日などは特に危険。  
(70歳代 男 西部)

## みどり

- 17 公園がもっとほしい。  
(20歳代 男 東南部)
- 18 八王子は自然が沢山あって好き。  
(30歳代 女 東部)
- 19 みどりは大切にしていってほしいと思うが、どうしても狭い道等の植物は、車両通行の際にさまたげになってしまう。手入れは大変だと思うが、そういったところにも手が行き届くと良いと感じる。  
(30歳代 女 中央)
- 20 現状は特に不満はないが、街路樹を増やしても良い。  
(40歳代 男 中央)
- 21 住宅が増えるペースに対して公園ができるペースが追いついていないので、どんどんとみどりが減っていると思う。わが家の周りもみどりが減り続けていると感じている。  
(40歳代 男 西部)
- 22 みどりがあっても、近所で手入れされていないみどりは虫が出て不快を感じる。  
(40歳代 女 西南部)
- 23 個人宅の木の伐採による緑の減少は災害時のことも考えると仕方ないが、空き家になっていて、伸び放題になっている木々は危なくて問題だと思う。  
(40歳代 女 西部)
- 24 畑や林などが切り崩され、宅地化されて、緑がどんどん減っている。一方で空き家、マンションの空き部屋なども増加している。空き家空き部屋を有効活用し、緑を保全してほしい。  
(40歳代 女 西南部)
- 25 以前、田畑だったところに住宅が建ち、みどりが減ったのは残念だが、その影響で道路などが整備され生活しやすくなった。喜んでよいのか。  
(50歳代 女 西部)
- 26 20号沿いはマンション通りとなっているが、みどりが同時に増えればよいと思う。町中に市民が気軽に立ち寄りたくなる公園がほしい。  
(50歳代 女 中央)
- 27 みどりについては、今年の夏の暑さを見ても、みどりを増やし少しでも温暖化をくいとめるような策が必要だと思う。また私の住む堀之内近辺はマンションラッシュもあり、風の通りもよくなっていると思う。国、行政、民間企業（建設会社等）が1つになって今後の環境問題を真剣に取り組む必要がある。それをしないと人間を含め生き物が全く住めない国に近いうちになってしまう。  
(50歳代 女 東部)

- 28 住宅街の木が大きくなりすぎている。定期的に伐採してほしい。(50歳代 男 東部)
- 29 私の家は富士森公園に近く、緑も多い。昔から閑静な住宅街だ。今後もこのような環境で暮らせば良いと考えている。(60歳代 男 中央)
- 30 自宅のある地域は、分譲された当初から少しの庭と建物をかこむグリーンベルトがあった。それが20数年たって成長し、とても緑の多い地域になったと思う。庭木の手入れやせん定で費用はばかにできないが、それを考えに入れても、この分譲の方法は良かったと思う。(60歳代 女 東南部)
- 31 地域のグループの方々が、みどりを守る活動をして下さり、大変感謝している。(60歳代 女 西南部)
- 32 高尾山から京王線沿いに緑が広がっているが、少しずつ宅地化が進んでいるように思う。残念だ。(60歳代 女 中央)
- 33 私有地(雑木林)が駐車場に変わったりして、住宅地周辺のみどりが公園だけになっていくのが残念。(60歳代 男 中央)
- 34 樹木の枝などの伐採が、極端すぎる場合が多いように思う。景観にも配慮がほしいと思う。(60歳代 男 東部)
- 35 山を崩して住宅地が増えた。最近ゲリラ豪雨が多くなっているの、山を切り崩して住宅地を崖のすぐそばには立てられないような規制を行政でやってほしい。(60歳代 女 東南部)
- 36 片倉台内の白山通り(文化大～坂上)の街路樹が数年前の台風で数本倒木したが、そのため道路両側の街路樹がすべて撤去され緑がなくなった。(70歳代 男 東南部)
- 37 防犯上との説明で、公園の木々が伐採されているが、何か他に方法はないのか。(80歳代 女 北部)

## 大気

- 38 ベランダに黒い土ぼこりがたまるので、健康に影響がないか心配。(PM2.5では)(60歳代 男 中央)
- 39 八王子は自然がまだ残っていると思う。外出して都心から戻ると、空気が冷たく、澄んでいるのがわかる。(60歳代 女 西南部)
- 40 車の排気ガスの規制を強める。特に工事用重機のガス規制を。(70歳代 男 西部)
- 41 南大沢3-24にある泉環境(バイオマスセンター)は現在停止中だが、再稼動に向けて、また悪臭が心配だ。(70歳代 男 東部)

## 騒音・振動

- 42 八王子駅周辺の鳥よけの音がうるさいので、他の方法でできないものかと思った。(20歳代 女 中央)
- 43 そもそも判断基準がわからないため、アンケートの評価ができない。騒音については昔から夜間のアイドリング音や酔っ払いの音がうるさいという状況であり、改善してほしい。(特に夜間のマンション前にアイドリング状態の駐車を取り締まる気を感じない。しかし昼間は荷物の積み込みで停車しただけで取り締まろうとしている姿は腹立たしい。)(30歳代 男 中央)
- 44 工事の音が小さくなったので嬉しい。(40歳代 女 西南部)
- 45 必要なことだとは思いますが、基地から飛行訓練する軍事用飛行機の飛ぶ回数が増え、飛行高度が低くなった気がする。(40歳代 女 西部)
- 46 駅周辺の木には鳥がたくさんいて、糞や鳴き声による被害は問題だと思っている。また、横田基地の飛行機の音がすごいときがたまにある。(40歳代 女 中央)



- 47 たまに横田基地のジェット機が飛んでうるさいことがあるが、それほど頻繁ではない。  
(40歳代 女 西南部)
- 48 米軍の飛行機か航空自衛隊機かわからないが、低空飛行につき騒音がひどい。ルート、時間帯に工夫が必要ではないかと思う。  
(40歳代 男 東南部)
- 49 騒音に対しては生活する以上、致し方ないと思っている。  
(40歳代 男 中央)
- 50 横田基地からなのか、昼、夜かまわず飛行機がやたらと多く飛ぶ。先日も2機がかなり低く飛行していたので、かなり大きな音がした。  
(50歳代 女 西部)
- 51 最近、米軍の戦闘機のような飛行機が何機も飛んでいて、音が凄くビックリした。回数が増えたように思う。近所に近い将来バイパスができるようで、便利になる反面、排気ガスや騒音などが心配。  
(50歳代 女 北部)
- 52 少し寂しさもあるが、子供のころは機織工場が近所にあり、その音で目を覚ませた。機織工場がなくなり、騒音はなくなったが、八王子の基幹産業の衰退を象徴しているようで、複雑な気持ちである。  
(50歳代 男 中央)
- 53 新滝山街道ができ、たしかに騒音は気になるところだが、はるかに便利になったことを思うと我慢の範疇。  
(60歳代 女 北部)
- 54 ニュータウン内の幹線道路の道幅が広いので、スピードオーバーの車両が多く、騒音がひどくなった。ぬけ道としての利用が多いので、対策が必要と思う。  
(60歳代 女 東部)
- 55 上空をジェット機が数機飛ぶこともあり、爆音がして困る。  
(60歳代 女 北部)
- 56 車の騒音（ひよどり山トンネルから道の駅）  
(70歳代 男 北部)
- 57 夜中のパトカー・救急車のサイレンには困っている。  
(70歳代 女 東部)
- 58 このごろ上空で自衛隊の飛行機が連帯で飛んでいる。機体は低空で、日中のみならず夜間9時前後まで騒音が気になる。なぜ低空で飛ぶのか。  
(70歳代 女 西部)
- 59 飛行機の騒音対策。今迄の対策、今後の予定を教えてください。オスプレイに関して、協議内容等を差し支えない範囲で教えてください。  
(80歳代 男 東部)

## その他

- 60 講座などをインターネットで見られるようにした方が、参加意欲がわく人が多くなると思う。  
(40歳代 男 東南部)
- 61 富士森陸上競技場はどうなっているのか？公園のまわりもその時だけで終わっている。なぜか中途半端を感じる。市としての情けなさも感じながら「緑化フェア」とはなんなのか。  
(70歳代 女 中央)
- 62 多摩ニュータウンに居住。環境整備の経費はURの管轄で、行政による管理との棲み分けがわかりにくい。環境問題は行政区分で片付けられないので、住民・地域・行政（国・地方行政）の連携が必要と考える。  
(70歳代 男 東部)

## テーマ2 「はちバスの今後の運行」について

都市計画部 交通企画課  
道路交通部 交通事業課

市では、市内の交通空白地域(※1)を中心に、主に高齢者や障害のある方、妊婦の方などの外出支援を目的に、地域循環バス「はちバス」を運行しています。

はちバスは、平成15年3月に「北西部コース」、平成16年3月に「東部コース」、平成23年1月に「西南部コース」の運行を開始し、市民の皆様の日常の足として定着している一方、はちバスを運行するために年間約5千万円の税金が使われています。また、自治体により運行規模や条件が違うため一概に比較はできませんが、東京都内26市のなかでは最も低い収支率(※2)となっており、運行の課題となっています。そこで、市民の皆様から「はちバス」についてご意見をお聞きします。



### (※1) 交通空白地域

路線バスなどの公共交通が運行していない地域で、本市では、鉄道駅から概ね700m以遠、かつバス停留所から概ね300m以遠の地域をいいます。

### (※2) 収支率

運行経費（人件費、燃料代、車両維持管理費など）に占める運賃収入などの割合

収支率 = 運賃収入など ÷ 運行経費 × 100（平成29年度は17.2%）

問1 あなたは、はちバスルートの沿線に住んでいますか。

(○は1つだけ)

(n=97)

	構成比(%)
住んでいる	27.8
住んでいない	72.2

はちバスルートの沿線に住んでいるか聞いたところ、「住んでいる」が3割近く(27.8%)、「住んでいない」が7割強(72.2%)であった。

問2 あなたは、はちバスをどのくらい利用していますか。

(○は1つだけ)

(n=97)

	構成比(%)
日常的に利用している	0.0
時々利用する	8.2
ほとんど利用しない	16.5
利用したことがない	75.3

はちバスをどのくらい利用しているか聞いたところ、「ほとんど利用しない」(16.5%)と「利用したことがない」(75.3%)を合わせた《利用しない》は9割強(91.8%)と多くなっている。

問3 はちバスは、主に交通空白地域の移動手段として運行されていることを知っていましたか。

(○は1つだけ)

(n=97)

	構成比(%)
知っていた	55.7
知らなかった	44.3

はちバスは主に交通空白地域の移動手段として運行されていることを知っているか聞いたところ、「知っている」が5割台半ば(55.7%)、「知らなかった」が4割台半ば(44.3%)であった。

問4 はちバスは、乗車時に東京都のシルバーパス(※)を提示することで運賃が全額割引になることを知っていますか。 (○は1つだけ)

(n=97)

	構成比(%)
知っていた	35.1
知らなかった	64.9

**※シルバーパス**

東京都バス協会が一定の条件を満たした70歳以上の方に対して発行しており、提示することで都内の大部分の路線バスに無料で乗車できます。また、シルバーパスによる乗車の運賃については、東京都からバスを運行している事業者に対して一定の補助金が交付されています。

はちバス乗車時に、東京都のシルバーパスを提示することで運賃が全額割引になることを知っているか聞いたところ、「知っている」が3割台半ば(35.1%)、「知らなかった」が6割台半ば(64.9%)であった。

問5 はちバスはシルバーパスを利用できますが、都内の他の一般的なコミュニティバスでは、シルバーパスを利用できないことを知っていますか。 (○は1つだけ)

(n=97)

	構成比(%)
知っている	8.2
知らなかった	91.8

はちバス以外の都内の一般的なコミュニティバスは、シルバーパスが利用できないことを知っているか聞いたところ、「知っている」が1割近く(8.2%)、「知らなかった」が9割強(91.8%)であった。

問6 はちバスのような自治体が運行するコミュニティバスは、東京都の補助の対象外とされており、シルバーパスによる乗車の運賃は全て市の税金で賄われていることを知っていますか。

(○は1つだけ)

(n=97)

	構成比(%)
知っていた	18.6
知らなかった	81.4

はちバスは東京都の補助の対象外とされており、シルバーパスによる乗車の運賃は、全て市の税金で賄われていることを知っているか聞いたところ、「知っている」が2割近く(18.6%)、「知らなかった」が8割強(81.4%)であった。

問7 はちバスの利用者数は年々増加していますが、利用者に占めるシルバーパスによる乗車の割合も運行当初と比べて増加しており、現在では約6割となっています。そのため、多くの方々にご利用いただいておりますが、必ずしも運賃収入に結びついていない状況となっており、はちバスにおけるシルバーパスの利用について、市として見直しを検討しています。

はちバス乗車時のシルバーパスの利用についてどのように考えますか。(○は1つだけ)

(n=97)

	構成比(%)
シルバーパス所持者にも運賃の一部(割引運賃)を支払ってもらう	51.5
これまでどおりシルバーパス所持者は全額割引とする	33.0
シルバーパス利用を廃止し、シルバーパス所持者も一般の大人運賃と同じ金額の運賃とする	11.3
その他	4.1

はちバス乗車時のシルバーパス利用について、どのように考えるか聞いたところ、「シルバーパス所持者にも運賃の一部(割引運賃)を支払ってもらう」が5割強(51.5%)と最も多く、次いで「これまでどおりシルバーパス所持者は全額割引とする」が3割強(33.0%)であった。

#### 【その他】

- ・ 一定運賃又は一定距離では支払いとする。
- ・ 交通空白地域の移動手段としてはちバスがあるのは、ライフラインとして大切だ。しかし、高齢者も増え続けるため、ただ単に運賃を回収するだけでなく、上記選択肢以外の画期的な運賃収入を八王子市として本気で検討すべきだと思う。
- ・ シルバーパスは「東京バス協会が一定の条件を満たした70歳以上の方に対して発行」と説明があるが、一定条件というのがどのような条件なのかわからないので、答えられない。
- ・ 人口における高齢者比率は高まり続けているので、これまでどおりだと継続が難しくなる時期がいつかくる。「シルバーパス廃止」を最終ゴールとして、時期を定めて、全額割引から一部負担へ、一部負担から廃止へと移行するのはいかがか。

問8 はちバスの運賃は、乗車距離に応じた運賃（100 円（初乗り）、170 円、200 円（上限））となっていますが、民間バスの運賃と比べて低い設定となっています。

はちバスの運賃について、どのように考えますか。

（○は1つだけ）

(n=97)

	構成比(%)
今のままでよい	54.6
民間の路線バスと同程度の運賃に値上げする	20.6
定額料金とする（一律 170 円等）	17.5
現状の運賃を値下げする	0.0
その他	7.2

はちバスの運賃についてどのように考えるか聞いたところ、「今のままでよい」が5割台半ば（54.6%）と最も多く、次いで「民間の路線バスと同程度の運賃に値上げする」が約2割（20.6%）であった。

#### 【その他】

- ・ 割引運賃などを条件に運賃の値上げ。
- ・ 京王バスより安く利用できるのが魅力の一つなので、今より値上げしても良いが、京王バスよりは高くないようにしてほしい。
- ・ 乗車距離に応じた今の運賃から、各 50 円ずつ値上げ。（運行中止、廃止を防ぐため。）
- ・ 定額料金 150 円ならありがたい。西南部コースは短いので 100 円ぐらいと考える。
- ・ 利用者の目的地の区間に見合った料金に。全区間ほどの位の距離なのかわからないが、利用状況がどういう状態なのかを把握して、ある区間までは一律とし、走行距離に見合えば良いと思う。
- ・ そもそも、はちバスのことを知らなかったなので、運賃の妥当性の判断ができない。

問9 「はちバス」の運行に必要となる経費については、運賃収入だけでは賄えないため、市の税金で補てんしています。平成29年度には、利用者1人の1回の利用に平均して約300円の税金が使われていますが、このことについてどのように考えますか。 (〇は1つだけ)

(n=97)

	構成比(%)
税金の使われ方として不公平を感じるので、適切な運賃の負担について検討すべきである	49.5
税金の使われ方として、妥当である	41.2
その他	9.3

はちバスの運行経費については、運賃収入だけでは賄えないため、利用者1人の1回の利用に対して平均約300円の税金が使われていることについて、どのように考えるか聞いたところ、「税金の使われ方として不公平を感じるので、適切な運賃の負担について検討すべきである」が5割弱(49.5%)と最も多かった。

【その他】

- ・ 税金の使われ方は良いと思うが、1回の金額(税金額)を見直すべき。
- ・ 良くわからない。
- ・ 補助金の額は、利用したことがないので、どちらとも言えない。
- ・ シルバーパスの方も一般の方も300円の税金ですか？
- ・ もう少し安くなると良いと思う。
- ・ 運行業者には良いが、利用者に1人300円は税の負担が大きすぎる。300円の税金を使うのではなく、利用者にもう少し負担を希望する。
- ・ 単純に適切な運賃にするべきとも言えないし、妥当とも言えない。高齢化が進む中で、高齢者の運転が危ぶまれる状況や八王子は広く公共の交通機関が細部まで行き渡っていないことを考えると、これで良いという判断ができない。
- ・ 空白地域に住む人は不便も多く、その人たちに税金を使うことは構わないが、シルバーパスは即刻廃止すべきである。高齢者が増えると座席に座れない上に、その高齢者は運賃を払っていないというのは、乗車する人たちにとっては腹立たしいことではないか。
- ・ 不公平とまでは言いませんが、見直しが必要と思う。

問 10 今後のはちバスの運行方針についてどのように考えますか。

(〇はいくつでも)

(n=97)

	構成比 (%)
市の支出を減らすよう、運賃の見直し等の対策を講じるべき	42.3
利用が少ない地域は、運行を中止すること（またはコースの廃止）もやむを得ない	30.9
サービスの拡充（増便・ルートへの延伸）をするべき	26.8
現行の運行を継続するべき	24.7
はちバスを廃止するべき	2.1
その他	15.5

今後のはちバスの運行方針についてどのように考えるか聞いたところ、「市の支出を減らすよう、運賃の見直し等の対策を講じるべき」が4割強（42.3%）と最も多く、次いで「利用が少ない地域は、運行を中止すること（またはコースの廃止）もやむを得ない」が約3割（30.9%）であった。

【その他】

- ・ サービス、ルート、金額を見直し、利用者を増やせる対策を考える。
- ・ 運行ルートを民間バス停間として、増便をはかるなどの工夫をする。
- ・ ルートが長すぎる。本数が少なく、利用したい時刻が見込めない（読めない）。ルートを分割し、その区間の本数を増やす。
- ・ 北野駅の乗り場が2か所（北口と南口）ある。片倉駅行に乗る場合、北口から乗ると、南口から乗るより運賃が高い。そうかといって、わざわざ南口乗り場に行くには遠い。北口から乗っても同じ運賃になれば、京王バスを待っている人がはちバスに変更して、利用する人も増えると思う。
- ・ 2時間に1本の運行を1時間に1本とすると、もっと利用する方が増えるのでは。
- ・ 自分の問題として考えると、何年か先に車は乗れなくなると思うので、はちバスを利用する頻度は多くなるから、やはり運賃の見直しが妥当かと思う。運賃収入について知ったので、将来自分がシルバーパスではちバスに乗車するとき、心苦しく思うかもしれない。（知らない人が多いので、はちバスの中などに、収支ちらしなどを掲載し、現状を知らせる。）
- ・ 高齢者の免許返納を促進させるため、今後の運営計画の再検討が必要と思う。
- ・ 利用したことがないので、「サービスの拡充」が良いのか、「現行の運行を継続」が良いのかわからないが、廃止だけはすべきではないと思う。
- ・ コースの廃止については、住民（利用者）の意見・アンケートが必要。
- ・ 高齢で独り暮らしの方や障害がある方、また、そのような方々を介護されている方は、買い物や通院など大変だと思う。そのような方々が安心して暮らせるよう本数を増やしたり、ルートを増やしたりするのは賛成。私は10年ほど、愛知に住む母を遠方介護していて、田舎でバスがないためすべてタクシーだったので、金銭的に大変だった。
- ・ 病院方面に廻るのであれば、病院と提携してみても良いのではないかと。
- ・ 現在、はちバス利用者はある一部の人（交通空白地域の移動手段として使用している人）に限られているため、新規利用者を増やすよう検討するべき。
- ・ 利用者数を踏まえ、バスのサイズをかえる、宅配業務を兼ねるなど工夫してはどうか。



- ・ はちバスについて知らないので判断できない。
- ・ はちバスの運行ルートや本数があまりに少なく、利用したくても利用者が限られていることに、運賃収入の問題の一つがあると思う。市民がもっと利用しやすくすることで、赤字部分を補えるのではないかと。

**問 11 その他、はちバスの今後の運行についてご意見がありましたらご記入をお願いします。**  
(自由記述)

**運賃・市税負担**

- 1 はちバスは1度しか乗ったことがなく、路線バスの方が早いので、この先も利用することはないと思う。お年寄りが利用しているイメージがあるので、料金は安い方が良くと思うが、定額料金などにして、少しでも市の負担を減らしてほしい。(20歳代 男 西部)
- 2 空白地域に住む人は不便も多く、その人たちに税金を使うことはかまわないが、シルバーパスは即刻廃止すべきである。高齢者が増えると座席に座れないうえに、その高齢者は運賃を払っていないというのは、乗車する人たちにとっては腹立たしいことではないか。(20歳代 女 東南部)
- 3 高齢者、障害者の生活の手助けになるなら、税金がある程度使われることも良いと思う。(30歳代 女 東南部)
- 4 バス車内の簡易的な清掃を、乗車した人が実施できる環境をつくり、整備に要する費用を削減できないか検討してほしい。(30歳代 男 中央)
- 5 車の運転をしない方、高齢の方には必要だと思う。余裕のある高齢者には少し負担してもらおうなど、一律ではない対応を試してみてもどうか。「税金の使い方」は難題ではあるが、本当の弱者に優しい対策を願う。(50歳代 女 西部)
- 6 運賃見直し。バス以外の運行サービス。(50歳代 男 東部)
- 7 利用していないので何とも言えないが、一人一回300円の税投入は使い過ぎと考える。八王子市域内の移動どうしても車となるので、自家用車を所持していない人には大切なインフラとは思いますが。(50歳代 男 中央)
- 8 そもそも、はちバスを見たことがない。税金の使い方に公平さが感じられない。(60歳代 男 東部)
- 9 シルバーパスの料金が年収120万円以上は2万円、それ以下は1,000円の値段バランスを見直すべき。(70歳代 男 東南部)

**運行路線・本数**

- 10 もっといろんな所を走ってほしい。(20歳代 男 東南部)
- 11 多くの利用者を見かける。今後も1人でも多くの方が利用できるよう路線や本数改善等が進めばと思う。(30歳代 女 中央)
- 12 近くにバス停があるが、運行間隔が広すぎるため、普通のバスや自家用車で外出することがほとんど。乗ろうとしてもお年寄りが多数を占めていて、乳児と幼児を連れて乗る気がしない。(30歳代 女 東南部)
- 13 運行路線のルート延伸・変更は、利用者への影響が少ない方が良いと思うが、路線廃止の際は、代替措置を考慮すると思うので、ぜひとも熟考してほしい。(40歳代 男 中央)

- 14 はちバスは、目的地までかなり時間がかかるので、利用したことはない。乗換がなく目的地に行ける場合は乗りたいと思うが、長時間では子どもがぐずるため利用しにくい。一般のバスでも子連れママたちは利用しづらいというのに、時間がかかるのは選択しないと思う。増加する高齢者や子ども連れにやさしい取り組み、子どもだけでも目的地まで乗れる、例えば運転手が協力し、声かけをしたり、塾や習い事のルートに増便したり、子連れで利用できる施設や大きい病院以外の病院を通る便を増設などすれば、定額運賃を払える層が新規で利用するのではないか。(40歳代 女 西部)
- 15 赤字であるなら運行本数の絞り込みも検討すべき。(40歳代 男 中央)
- 16 2時間に1本では終点(病院)まで行くのに時間がかかりすぎて、病院の受付が終了してしまう。車の運転をやめた方にとっては、はちバスを利用したいと思うだろうが、時間に余裕がないので利用しない方もいると思う。(50歳代 女 西部)
- 17 交通弱者のために、もっとルート等を拡充してほしい。(50歳代 男 中央)
- 18 長沼駅から八王子駅、南大沢駅にも行けると良い。(60歳代 女 東南部)
- 19 コースの見直しをしてほしい。小比企・片倉附近の北野街道からみなみ野駅に行くバスは出ないのか。(60歳代 女 東南部)
- 20 私の利用しているはちバスは、2時間15分に一本です。うまく利用できたら、くじに当たったようなものだと思います、たまたまという感じで利用している。ただこれ以上運行するのはムリだから、この運賃が良いと思う。(60歳代 女 東南部)
- 21 増便されたらありがたいと思うが、今のところ満足している。(60歳代 女 西南部)
- 22 一部の地区だけでなく、税金使用の平等を考えると、市全域での運行を考えても良いと思う。(60歳代 女 東部)
- 23 不便な地域へのルート延伸。(70歳代 男 北部)
- 24 丸山町は坂が多く、たくさん的高齢者が困っている。バス停への階段が1か所あるが、勾配がきつくて、上りはともかく下りは高齢者にとってはつらい。丸山町ははちバスのルートから遠くはずれていて、今後、丸山町内への新設ルートのご検討を強く願う。(80歳代 女 北部)

## 運行継続を望む

- 25 人により損得あると思うが、市として必要なこと。困っている人のために必要なことだと思う。(40歳代 男 東南部)
- 26 はちバスは、交通の便が悪い場所では必要だと思う。自分は通常のバス停が近くにあるし、電車を利用することが多いので、はちバスを利用したことがない。でも、必要な人はいると思うので、廃止にはしないほうが良いと思う。(40歳代 女 西南部)
- 27 日頃は自動車に乗っているが、たまたま自動車がないときは、はちバスを利用する。家の近くから利用できるのもとても便利だし、高齢者でなくてもとても助かる。(50歳代 女 中央)
- 28 高齢者や車を持たない人の外出機会を妨げないためにも、はちバスは継続したほうが良いと思うが、ある程度は利用者にも負担をしてもらったほうが良いと思う。はちバスを知らない人もまだ多くいると思うので、PRをもっとしたほうが良いと思う。(60歳代 女 東南部)
- 29 交通空白地域の移動手段として運行されているのであり、代替手段がない限り、現行の運行の継続をすべきと思う。運賃収入に結びついていない状況には、市の当初の見通しのあまさを感ずる。(70歳代 女 東部)

## 運行方法の調査

- 30 実際に誰がはちバスを本当に利用していてどのルートを使ってるのかしっかり調べてから、運賃やルートの見直しをするべきだと思う。財源は無限ではないので、しっかり必要・不必要で分けないと、後々大変になる。(30歳代 女 東部)
- 31 北野近辺を運行しているはちバスを見かけるが、あまり利用率が高いように感じない。乗っている人も、目的(行先)がある程度決まっているように思う。そのため利用者のターゲットと収益率を路線ごとに明確にし、年次で計測、数年での料金や市税投資額の検討をすべきと思う。(40歳代 男 東部)
- 32 現状を維持するだけでなく、高齢化の進んでいる町会や、公共のバスが運行されていない地域をもう一度見直してほしい。(40歳代 女 西南部)
- 33 今後は高齢者が増え、自動車免許を返納する人が多くなることが考えられる。八王子の地域性を考えるとはちバスの必要性は大きい。利用している地域の声(なぜ利用していないか、必要性がないのか。)を聞くとともに、市もPRが大切だと思う。(50歳代 女 中央)
- 34 1割負担にするなど、他の地域のことも参考にすべき。熊本は1割負担。ただ、顔写真付き本人確認カードなど、最初は負担が増えると思う。(50歳代 男 西部)
- 35 高齢者が多くなっている現状では、はちバスを頼りに病院等へ行っている方も多いと思う。はちバス利用者に意見を聞いて、今後のはちバス運行の経路、時間等を決めるべきだと思う。八王子が進む町づくりを今後も行っていくことを望む。(50歳代 女 東部)
- 36 健全に継続できる方向での検討をお願いする。(50歳代 男 中央)
- 37 収支率の高い自治体の成功例を調べて、流用できるシステムがあれば実施する。また、運行コースは周辺の町会から意見を集めて再考してみる。(60歳代 男 中央)

## 周知

- 38 私の姉が「はちバス」の存在を認識していなかったもので、まだまだ認知度が低いと思った。広報活動を増やし、利用者を増やすべきだと思う。(20歳代 女 中央)
- 39 はちバスの運行を今回はじめて知った。(40歳代 女 東南部)
- 40 日常、車を使用しているので、はちバスを見かけたことはあるが、情報は全くわからない。私のような人の方が、まだまだ多い気がする。(50歳代 女 北部)
- 41 暮らしの便利帳で初めてルートを知った。八王子駅の地下道でポスターを見て気になっていたが、ルートもいっしょに表示してあれば、乗る人がもっと増えるのではないと思う。(60歳代 女 中央)
- 42 はちバスの運行ルートをもっと周知すれば、利用するようになると思う。市民に情報提供をしてほしい。(60歳代 女 西南部)

## その他

- 43 シルバーパスをまだ貰っていないが、受給資格が来年ということもあり、アンケートに答えにくい。(60歳代 女 東部)
- 44 私はシルバーパスを利用して、不便はない。(浅川橋の近くは、はちバスが運行していない。)(70歳代 女 中央)
- 45 一度利用してみないとわからない。(70歳代 女 西部)

### テーマ3 「市立小・中学校施設の今後のあり方」について

学校教育部 学校教育政策課

学校施設は子どもの学びの場であるとともに、「子どもの遊び場」、「地域の避難所」、「地域コミュニティの核」としての役割を担っており、教育環境の充実はもとより、「地域の子どもは地域で育てる」ため、地域の拠点となるよう適正に配置することが重要です。

つきましては、平成20年度に策定した「市立小・中学校適正配置推進計画」の見直しを進めるにあたり、その基本となる次の3つの視点についてご意見を伺います。

#### 3つの視点

- ① 建設年度の古い順を基本として学校施設の“改築”または“長寿命化を図るための改修”を行います。
- ② 小規模校の適正規模化による適正配置を推進します。
- ③ 平成27年10月に策定した「八王子市公共施設マネジメント基本方針」に基づき、改築時及び長寿命改修時には、小・中学校一体型やその他の公共施設などとの複合化を図ります。

**問1 市立小・中学校のおよそ80%は建設から30年以上が経過しています。平成25年度までに耐震化は完了（躯体のみ）していますが、施設の老朽化は進行している状況です。そこで、老朽化した学校施設への対応について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。**

(○は1つだけ)

(n=97)

	構成比(%)
改築または改修は、建設年度を考慮して計画的な予防保全を行うべきである	79.4
改築または改修は、施設の劣化状況によりその都度考えればよい	14.4
改築または改修は、地域住民との合意形成が得られた学校から行うべきである	4.1
その他	2.1

老朽化した学校施設への対応について、あなたの考えに最も近いものはどれか聞いたところ、「改築または改修は、建設年度を考慮して計画的な予防保全を行うべきである」が8割弱(79.4%)と最も多く、次いで「改築または改修は、施設の劣化状況によりその都度考えればよい」が1割台半ば(14.4%)であった。

#### 【その他】

- ・ 児童数の増減予測を考慮しながら、統廃合を視野に入れつつ、建設年度を考慮して、計画的な予防保全を行うべきである。
- ・ 建設年度を考慮し、なおかつ劣化状況を見て行う。

問2 児童・生徒は、市域全体では減少傾向となっており、クラス替えができない小規模の学校が市内各地域に存在しています。児童・生徒数の減少は、子ども同士が切磋琢磨する機会が減少するなどの課題があると言われており、教育活動の効果を高めるためには、一定の集団性と多様性の確保が必要と考えられています。

そこで、小規模校の適正規模化による適正配置を推進することで、学校の再編を行う場合、あなたの考えに最も近いのはどれですか。 (〇は1つだけ)

(n=97)

	構成比(%)
地域の実情に応じて、学校の再編の是非を考えるべきである	32.0
通学時間と距離を考慮して、学校の再編の是非を考えるべきである	30.9
少子化が進行する現状を踏まえ、望ましい学校の規模（小学校では1学年に2～4クラス、中学校では3～6クラス）を維持するために学校の再編を進めるべきである	20.6
市の財政的な視点から学校の再編を行うべきである	6.2
子どもたちへの影響を考え、できるだけ学校の再編はしない方がよい	4.1
学校の伝統や歴史に配慮し、学校の再編の是非を考えるべきである	1.0
地域への影響を考え、できるだけ学校の再編はしない方がよい	1.0
その他	4.1

小規模校の適正規模化による適正配置を推進することで、学校の再編を行う場合、あなたの考えに最も近いのはどれか聞いたところ、「地域の実情に応じて、学校の再編の是非を考えるべきである」が3割強（32.0%）と最も多く、次いで「通学時間と距離を考慮して、学校の再編の是非を考えるべきである」が約3割（30.9%）であった。

#### 【その他】

- ・ 再編を進め、スクールバス運行も考えるべき。
- ・ 子ども中心に考えるべきで、再編実施校の評価（子どもの変化・環境変化に馴染めたか）をして下さい。
- ・ 選択肢の意見はそれぞれに価値があり、少子高齢化の実情を鑑み、長期的視野にもとづき、計画的に統廃合を考えるべきと思う。
- ・ ただ単純に児童同士を成績などで競争させるのではなく、教育の本質を踏まえ、児童一人ひとりになぜ勉強することが必要なのかを考えさせながら育成すべきだと思う。昭和の時代に確立されている学校教育を一から見直すべきではと思う。

問3 適正規模化及び適正配置の推進には、保護者や地域住民との合意形成が不可欠です。具体的な進め方として、あなたの考えに最も近いのはどれですか。 (○は1つだけ)

(n=97)

	構成比(%)
一定の基準で全市の計画を立て、地域の実情に配慮し、地域住民との合意形成を図りながら進めるべきである	81.4
一定の基準で全市の計画を立て、地域の実情にかかわらず、その計画に基づき進めるべきである	10.3
地域住民からの要望により進めるべきである	5.2
その他	3.1

適正規模化及び適正配置を推進するための具体的な進め方として、あなたの考えに最も近いものを聞いたところ、「一定の基準で全市の計画を立て、地域の実情に配慮し、地域住民との合意形成を図りながら進めるべきである」が8割強(81.4%)と最も多く、次いで「一定の基準で全市の計画を立て、地域の実情にかかわらず、その計画に基づき進めるべきである」が約1割(10.3%)であった。

【その他】

- ・ 地域住民との合意が理想ですが、それはまずムリだと思う。
- ・ 警察等が通学の警備をし、地域の安全を確認していれば推進しても良い。
- ・ 選択肢の意見はそれぞれに価値があり、少子高齢化の実情を鑑み、長期的視野にもとづき、計画的に統廃合を考えるべきと思う。

問4 平成27年10月に策定した「八王子市公共施設マネジメント基本方針」では、学校施設は単独での改築は行わず、他の施設との複合化を図ることにより、地域コミュニティの拠点となるような施設整備を行うこととしています。これに基づき、改築時には施設一体型の小・中学校の整備や他の公共施設との複合化を図ることを基本としています。

あなたは、小・中学校と複合化する公共施設としてどのようなものが最もふさわしいと考えますか。 (○は1つだけ)

(n=97)

	構成比(%)
子どもの居場所づくりのための施設や保育施設	33.0
スポーツ文化活動や生涯学習活動のための施設	26.8
市民センター等地域のコミュニティ施設	17.5
高齢者・障害者等の福祉施設	13.4
図書館や美術館等の文化施設	4.1
その他	5.2

小・中学校と複合化する公共施設として、どのようなものが最もふさわしいと考えるか聞いたところ、「子どもの居場所づくりのための施設や保育施設」が3割強(33.0%)と最も多く、次いで「スポーツ文化活動や生涯学習活動のための施設」が3割近く(26.8%)であった。

【その他】

- ・ 立地に応じて検討すべき。1つだけは選べない。
- ・ 地域のコミュニティ施設、スポーツ文化活動や生涯学習活動のための施設、高齢者・障害者等の福祉施設を統合または併設できないか検討していただきたい。
- ・ 高齢者、障害者、保育施設、コミュニティ施設等いろいろな複合施設を、地域の状況により取り入れ、運営等は民間等にも委託しても良いと思う。
- ・ 選択肢の意見はそれぞれに価値があり、少子高齢化の実情を鑑み、長期的視野にもとづき、計画的に統廃合を考えるべきと思う。

**問5 適正規模化や適正配置を進めた場合、廃校となる学校も考えられます。その場合、空いた施設や跡地について、あなたはどのような活用が最も望ましいと考えますか。（○は1つだけ）**

(n=97)

	構成比(%)
高齢者・障害者等の福祉施設	19.6
民間企業等への貸出または売却	19.6
子どもの居場所づくりのための施設・保育施設	16.5
スポーツ文化活動や生涯学習活動のための施設	15.5
市民センター等地域のコミュニティ施設	14.4
図書館や美術館等の文化施設	8.2
その他	6.2

廃校によって空いた施設や跡地について、あなたはどのような活用が最も望ましいと考えるか聞いたところ、「高齢者・障害者等の福祉施設」と「民間企業等への貸出または売却」が2割弱（19.6%）と最も多く、次いで「子どもの居場所づくりのための施設・保育施設」が2割近く（16.5%）であった。

**【その他】**

- ・ 公園とする。不用な施設は福祉施設や老人ホーム等に活用する。
- ・ 廃校となる学校の立地にもよるので、1つだけは選べない。立地に合わせて検討すべき。（選択肢全て、可能性があると思う。）
- ・ 子どもからお年寄りまで気軽に楽しめる施設（スポーツや軽食）。災害時には食事を提供したり、宿泊もできる施設になれば安心。（子どもたちが通っている学校を避難場所にしたくないので。）
- ・ 地域のコミュニティ施設と高齢者・障害者等の福祉施設の統合又は併設等を検討してほしい。
- ・ 廃校の有効活用は、その地域の活性化を考えながら治安も守られるようにしないといけないので、一概に決められない。福祉施設も利用者が集まる場所でないという意味がないし、民間企業へ委ねるのも害が出ないような利用の仕方を約束しなければならない。
- ・ 選択肢の意見はそれぞれに価値があり、少子高齢化の実情を鑑み、長期的視野にもとづき、計画的に統廃合を考えるべきと思う。



問6 適正規模化及び適正配置を推進することで学校の再編をするにあたり、あなたが特に充実すべきだと思う学校の施設・設備は何ですか。 (○は1つだけ)

(n=97)

	構成比(%)
不審者の侵入防止等、防犯対策	27.8
冷暖房設備	24.7
地域住民が利用できる教室やホール等の整備	23.7
トイレなど衛生面	9.3
バリアフリー化	5.2
校庭の芝生化や屋上緑化	4.1
校内LANやパソコン整備	2.1
その他	3.1

学校の再編をするにあたり、あなたが特に充実すべきだと思う学校の施設・設備は何か聞いたところ、「不審者の侵入防止等、防犯対策」が3割近く(27.8%)と最も多く、次いで「冷暖房設備」が2割台半ば(24.7%)であった。

【その他】

- ・ いじめやその他の問題を抱える子どもたちのために、カウンセラーを学校内に常駐させる。
- ・ 十分な広さの校庭など運動ができる施設。
- ・ 選択肢の意見はそれぞれに価値があり、少子高齢化の実情を鑑み、長期的視野にもとづき、計画的に統廃合を考えるべきと思う。

問7 適正規模化及び適正配置を推進していくうえでは通学環境への配慮が重要となります。通学の安全・安心を確保するために、あなたが有効だと思う方策は何ですか。（〇は3つまで）

(n=97)

	構成比(%)
学校安全ボランティア等、地域住民による見守りやパトロール	53.6
交通指導員や通学指導員の配置	42.3
子どもたちへの安全教育の充実	42.3
歩道・信号機等の通学環境の整備	37.1
不審者情報の配信	22.7
防犯ブザーや携帯電話の携行	18.6
スクールバスによる送迎	12.4
公共交通機関利用者への通学費補助	12.4
保護者による見守りやパトロール	11.3
その他	0.0

通学の安全・安心を確保するために、あなたが有効だと思う方策は何か聞いたところ、「学校安全ボランティア等、地域住民による見守りやパトロール」が5割強（53.6%）と最も多く、次いで「交通指導員や通学指導員の配置」と「子どもたちへの安全教育の充実」が4割強（42.3%）であった。

## テーマ4 「スポーツ」について

生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課

市では、平成26年3月に「八王子市スポーツ推進計画」を策定し、「生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じたまちづくり」を基本方針に掲げ、スポーツ推進施策に取り組んでいます。

計画策定からすでに4年が経過し、2年後には東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることから、ここで計画の見直しを行います。

つきましては、「障害者スポーツ」や「スポーツを支える活動」などについて市政モニターの皆様の考えをお聞きし、計画の見直しの参考とさせていただきます。

**問1 この中に、あなたが知っている、または聞いたことがある障害者スポーツの用語があれば、すべてお選びください。** (〇はいくつでも)

(n=97)

	構成比(%)
パラリンピック (※1)	99.0
車いすバスケットボール (※2)	92.8
車いすテニス (※3)	86.6
ブラインドサッカー (※4)	66.0
ボッチャ (※5)	46.4
車いすダンス (※6)	28.9
ウィルチェアーラグビー (※7)	20.6
ゴールボール (※8)	18.6
シッティングバレーボール (※9)	18.6
デフリンピック (※10)	8.2
サウンドテーブルテニス (※11)	7.2
スペシャルオリンピックス (※12)	7.2
その他	1.0
特になし	0.0

- ※1 4年に1度障害のあるトップアスリートが出場する国際的なスポーツの祭典。
- ※2 回転性や敏捷性の高い、専用の車いすに乗って行うバスケットボール。
- ※3 車いすに乗ってプレーするテニス。
- ※4 目隠しで視覚を遮断した状態でプレーするサッカー。
- ※5 目標となるボールに赤と青6個のボールを投げ合い、いかに多く近づけられるかを競う競技。
- ※6 車いすに乗った人と健常者がペアを組んで踊る社交ダンス。
- ※7 ラグビーなどの要素が組み合わさった球技。専用の車いすに乗った選手がボールを運び、トライラインに達するか、通過すると1トライとなる。
- ※8 目隠しを着用し、バレーボールコート大のコートで、2チームが相手のゴールにボールを転がして得点を競う競技。
- ※9 お尻を床につけてプレーするバレーボール。
- ※10 4年に1度聴覚に障害がある、ろう者のトップアスリートが出場する国際的なスポーツの祭典。
- ※11 卓球台のネットの下が空いていて、そこをボールを転がしてプレーする。選手は目隠しを着用。
- ※12 知的障害のある人にスポーツトレーニングの場と競技会を提供する国際的なスポーツ組織。

あなたが知っている、または聞いたことのある障害者スポーツの用語について聞いたところ、「パラリンピック」が10割強(99.0%)と最も多く、次いで「車いすバスケットボール」が9割強(92.8%)であった。

【その他】

- ・ 車いすフェンシング、カヌー、パラトライアスロン、ロードタイムトライアル、マラソン、パラテコンドー（パラ陸上各種、車いす陸上）

問2 あなたはこの1年間に障害者スポーツを見たことがありますか。 (○は1つだけ)

(n=97)

	構成比(%)
テレビ、ラジオ、インターネット配信等で見た（ニュース等で流れるダイジェストや特集番組も含む）ことがある	80.4
スタジアム・体育館・沿道などで実際に見たことがある	2.1
見たことがない	17.5

この1年間に障害者スポーツを見たことがあるか聞いたところ、「テレビ、ラジオ、インターネット配信等で見た（ニュース等で流れるダイジェストや特集番組も含む）ことがある」が約8割(80.4%)と最も多かった。

問3 あなたは、障害者スポーツの体験やイベントに参加したことはありますか。(○は1つだけ)

(n=97)

	構成比(%)
参加したことがある	3.1
今後、参加したい	16.5
参加したことはない	80.4

障害者スポーツの体験やイベントに参加したことがあるか聞いたところ、「参加したことはない」が約8割(80.4%)と最も多く、次いで「今後、参加したい」が2割近く(16.5%)であった。

問4 あなたは、どのようなスポーツ情報が欲しいですか。

(○はいくつでも)

(n=97)

	構成比(%)
スポーツ施設に関する情報(場所・営業時間・空き情報など)	54.6
スポーツ教室の案内	42.3
室内や一人でできる手軽な運動のやり方やプログラムの情報	42.3
ウォーキングやランニングコースに関する情報	36.1
市民参加型の大会やイベントの開催情報や結果	23.7
スポーツクラブやサークルに関する情報	23.7
親子で参加できるイベントの情報	15.5
スポーツボランティアに関する情報	15.5
八王子のプロスポーツに関する情報	14.4
特にない	7.2

どのようなスポーツ情報が欲しいか聞いたところ、「スポーツ施設に関する情報(場所・営業時間・空き情報など)」が5割台半ば(54.6%)と最も多く、次いで「スポーツ教室の案内」と「室内や一人でできる手軽な運動のやり方やプログラムの情報」が4割強(42.3%)であった。

問5 あなたは、地域スポーツクラブ（※）をご存知ですか。

（○は1つだけ）

(n=97)

	構成比(%)
活動内容について知っている	17.5
名前は聞いたことがある	30.9
知らない	51.5

**(※)地域スポーツクラブ**

学校施設や公共スポーツ施設などの身近な場所で、多種目でだれでも参加できる、地域住民が主体的に運営しているスポーツクラブのこと。

地域スポーツクラブを知っているか聞いたところ、「知らない」が5割強（51.5%）と最も多く、次いで「名前は聞いたことがある」が約3割（30.9%）であった。

問6 あなたは地域スポーツクラブが身近にあれば、加入したいと思いますか。（○は1つだけ）

(n=97)

	構成比(%)
既に参加している（⇒問7）	5.2
参加したいと思う（⇒問6-1）	44.3
参加したいとは思わない（⇒問6-1）	22.7
わからない（⇒問7）	27.8

地域スポーツクラブが身近にあれば参加したいか聞いたところ、「参加したいと思う」が4割台半ば（44.3%）と最も多かった。

【問6で「加入したいと思う」または「加入したいと思わない」とお答えの方に】

問6-1 あなたは、今後どのような条件が整えば、地域スポーツクラブに入りたいと思いますか。

(〇はいくつでも)

(n=65)

	構成比(%)
家や職場の近くにあれば	69.2
時間的に余裕があれば	60.0
会費(入会金、月会費)が安ければ	41.5
健康に関する専門指導を受けることができれば	27.7
アフタースポーツのための施設(レストラン、シャワールームなど)が充実すれば	24.6
一緒に加入する仲間がいれば	21.5
スポーツの専門的な指導を受けることができれば	15.4
スポーツ以外のプログラムも楽しむことができれば	12.3
複数の種目が実施できれば	10.8
家族みんなで入れることができれば	7.7
託児施設が利用できれば	6.2
その他	7.7
特になし	7.7
わからない	0.0

今後どのような条件が整えば地域スポーツクラブに入りたいと思うか聞いたところ、「家や職場の近くにあれば」が7割弱(69.2%)と最も多く、次いで「時間的に余裕があれば」が6割(60.0%)であった。

【その他】

- ・ 自分のやりたいスポーツ種目に関する地域スポーツクラブの有無がわからないので、問4のスポーツ情報が充実すれば、必然的に参加する機会が増えると思う。
- ・ 朝12分ほど体操している。
- ・ 自分の参加してみたいメニュー(太極拳、バレエウォーキングなど)があれば。
- ・ 年齢的に若い人たちの中では不安がある。
- ・ 生涯学習センターの好きな講座に参加できるので、今のところそれで充分と考えている。
- ・ 活動内容に関する情報へのアクセスのしやすさ、わかりやすさ。

問7 あなたは、今後スポーツや運動に関するボランティア活動へ参加したいと思いますか。（現在行っている方は継続意向をお答えください。）（○は1つだけ）

(n=97)

	構成比(%)
参加したいと思う（継続したいと思う）	26.8
参加したいと思わない（継続したいと思わない）	28.9
わからない	42.3
無回答	2.1

今後スポーツや運動に関するボランティア活動へ参加（継続）したいと思うか聞いたところ、「わからない」が4割強（42.3%）と最も多く、次いで「参加したいと思わない（継続したいと思わない）」が3割近く（28.9%）であった。

問8 スポーツや運動に関するボランティアをするためには、どのようなことが重要だと思いますか。（○は3つまで）

(n=97)

	構成比(%)
気軽に参加できる機会の充実	55.7
自由に使える時間の確保	42.3
ボランティア情報の入手しやすさ	39.2
ボランティアの養成、研修会の充実	33.0
自分の能力を活用できる場	20.6
イベント・大会の魅力向上	15.5
家族の理解・協力・応援	15.5
選手や他のボランティアとの交流	10.3
記念品・ポイント等がもらえる	3.1
その他	1.0
わからない	6.2

スポーツや運動に関するボランティアをするために、どのようなことが重要だと思うか聞いたところ、「気軽に参加できる機会の充実」が5割台半ば（55.7%）と最も多く、次いで「自由に使える時間の確保」が4割強（42.3%）であった。

【その他】

- ・ 職場の理解。



問9 2020年にオリンピック・パラリンピックが東京で開催されますが、あなたはどのように感じていますか。 (〇はいくつでも)

(n=97)

	構成比(%)
オリンピックを会場で観戦したい	48.5
パラリンピックを会場で観戦したい	24.7
オリンピックをテレビで観戦したい	64.9
パラリンピックをテレビで観戦したい	40.2
八王子市内でもパブリックビューイングなどの関連イベントを開催してほしい	27.8
スポーツに関わる活動や仕事がしたい	6.2
オリンピック・パラリンピアンと触れあう機会が欲しい	13.4
体験してみたいオリンピック競技がある	7.2
体験してみたいパラリンピック競技がある	2.1
障害者スポーツへの関心が高まった	18.6
ボランティアとして関わりたい	12.4
運動・スポーツをしたくなった	11.3
運動・スポーツをするようになった	6.2
健康づくりへの関心が高まった	22.7
国際交流への関心が高まった	19.6
特に関心が無い	10.3

2020年にオリンピック・パラリンピックが東京で開催されることをどのように感じるか聞いたところ、「オリンピックをテレビで観戦したい」が6割台半ば(64.9%)と最も多く、次いで「オリンピックを会場で観戦したい」が5割近く(48.5%)であった。





\*\*\*\*\*

平成 30 年度市政モニター 第 1 回アンケート結果  
平成 30 年 11 月

発 行：八王子市総合経営部広聴課  
〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目 24 番 1 号  
電 話：042 (620) 7411 (直通)  
F A X：042 (620) 7322

\*\*\*\*\*